

## 湯沢町総合戦略策定に向けての 町民意識調査 ご協力をお願い

町民の皆様には、日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、全国的に大きな問題となっている人口減少は、直接的・間接的に住民生活や地域経済、地方財政に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。そのため、湯沢町では、平成27年度に「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「湯沢町人口ビジョン・総合戦略（2015-2019）」を策定しました。

湯沢町人口ビジョンにおいては、2040年の総人口を6,650人に維持することを湯沢町の「将来展望」として掲げました。そして、湯沢町総合戦略では、「若者が生活の場として選択するまち」などの6つの基本目標を達成するために各種施策に取り組んできました（各種施策については添付の「参考資料「湯沢町総合戦略」概要」をご覧ください）。

総合戦略の策定後、平成30年度末までに35歳以上の方の転入が転出を上回ったり、まちづくりに関心を持つ若者の活動（ALL YOUTH YUZAWA）が生まれたりした一方、目標に達することができていない分野（20歳代の転出超過など）もあります。

こうした中、「湯沢町総合戦略（2015-2019）」が見直しの時期を迎えたことから、町では、令和2年度を初年度とする「湯沢町総合戦略（2020-2024）」の策定を進めています。そのため、将来のまちづくりの主役となる16歳から18歳の町民全員にご意見をお伺いするため、本調査票を送らせていただきました。

なお、本調査の中には、結婚や出産に関する質問があり、プライバシーに関わるものも一部含まれています。それらは今後の施策づくりの基礎資料とするために必要なものですが、答えにくい場合には無理して回答していただくかなくても構いません。また、回答はすべて統計的に処理し、個人が特定されることは決してありません。いただいた返信用封筒もプライバシーに配慮し、開封せず集計・分析事業者に渡すこととしています。

一人でも多くの方から回答をいただくことが、総合戦略で掲げた基本目標を達成するための確度の高い施策づくりにつながると考えていますので、お忙しいところ恐縮ですが、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

令和元年5月

湯沢町長 田村 正幸

### [記入上の注意]

1. 回答は無記名でお願いいたします。答えたくない質問は答えていただくかなくても構いません。
2. この調査は平成31年4月25日現在で16歳から18歳の全ての方にお送りしています。そのため、調査用紙がご家族内で複数届く場合がありますが、各個人で回答をお願いいたします。
3. 回答は、選択肢の番号を囲むように○を濃くつけてください。（例 ①）
4. 記入いただいた調査票を5月31日（金）までに返信用封筒に入れてご投函ください。
5. 本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

湯沢町役場 企画政策課 電話：025-784-3454 FAX：025-784-1818  
E-mail：kikaku@town.yuzawa.lg.jp

**1. あなたと地域社会との関係について：以下の質問への回答をお願いします。**

問1 あなたの性別についてお聞きします。(○は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 何年にお生まれですか。(平成 年)

問3 湯沢町での居住年数についてお聞きします。(○は1つ)

- |               |               |              |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 2年未満       | 2. 2年以上5年未満   | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上15年未満 | 5. 15年以上20年未満 |              |

問4 あなたと同居している方は何人ですか。あなたを含めて( 人)

問5 同居しているご家族についてお聞きします。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                  |                 |
|------------------|------------------|-----------------|
| 1. (自分・配偶者の)親    | 2. 配偶者           | 3. (自分・配偶者の)子ども |
| 4. (自分・配偶者の)祖父母  | 5. (自分・配偶者の)曾祖父母 |                 |
| 6. (自分・配偶者の)兄弟姉妹 |                  |                 |
| 7. その他(具体的に      |                  | )               |

※配偶者：婚姻関係にある相手のこと

問6 あなたは、湯沢町は住みよい町だと思いますか。(○は1つ)

- |            |             |              |
|------------|-------------|--------------|
| 1. とても住みよい | 2. まあ住みよい   | 3. どちらともいえない |
| 4. やや住みにくい | 5. とても住みにくい |              |

問7 あなたは、町政・町の財政に関心がありますか。(○は1つ)

- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 2. ある程度関心がある | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり関心がない | 5. まったく関心がない |              |

問8 あなたは、地域協働活動(行事の運営等)にどの程度参加していますか。(○は1つ)

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 積極的に参加    | 2. 可能な範囲で参加  | 3. あまり参加しない |
| 4. まったく参加しない | 5. 地域活動自体がない |             |

問9 あなたは、家族と買い物や外食などにどの程度出かけますか。(○は1つ)

- |                |               |               |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 週に数回以上      | 2. 週1回～月に数回程度 | 3. 月1回～年に数回程度 |
| 4. 年1回～数年に1回程度 | 5. まったく出かけない  |               |

問10 あなたは、(学校や職場以外で)友人とどの程度会っていますか。(○は1つ)

- |                |               |               |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. 週に数回以上      | 2. 週1回～月に数回程度 | 3. 月1回～年に数回程度 |
| 4. 年1回～数年に1回程度 | 5. まったく会っていない |               |

**2. 結婚観について：以下の質問への回答をお願いします。**

問1 配偶者はいらっしゃいますか。(○は1つ)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. いる 【次ページに進んでください】 | 2. いない 【問2に進んでください】 |
|----------------------|---------------------|

**配偶者がいない方にお聞きします。 ※答えにくい質問には回答せずに先に進んでください。**

問2 あなたは、将来結婚したいと思いますか。(○は1つ)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 思う【問3に進んでください】 | 2. 思わない【問8に進んでください】 |
|-------------------|---------------------|

問3 あなたが結婚するなら、理想の結婚年齢は何歳頃だとお考えですか。(○は1つ)

- |           |            |             |
|-----------|------------|-------------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳  | 3. 30～34歳   |
| 4. 35～39歳 | 5. 40歳～44歳 | 6. その他( 歳頃) |

問4 実際の結婚年齢は何歳頃になるとお考えですか。(○は1つ)

- |           |            |             |
|-----------|------------|-------------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳  | 3. 30～34歳   |
| 4. 35～39歳 | 5. 40歳～44歳 | 6. その他( 歳頃) |

問5 結婚して子どもを持つとすれば、理想とする子どもの数は何人ですか。( 人)

問6 結婚した場合に、実際に持てる子どもの数は何人だと思いますか。( 人)

問7 あなたが、将来結婚したいと思う理由は何ですか。(○は2つまで)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 精神的安らぎの場が得られる    | 2. 子どもや家族をもてる     |
| 3. 親や周囲の期待に応えられる    | 4. 愛情を感じている人と暮らせる |
| 5. 社会的信用や対等な関係が得られる | 6. 親から独立できる       |
| 7. 生活上便利になる         |                   |
| 8. その他(具体的に )       |                   |

**結婚したくないと回答した方にお聞きします。 ※答えにくい質問には回答せずに先に進んでください。**

問8 あなたが、将来結婚したくないと思う理由は何ですか。(○は2つまで)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 結婚そのものに興味がない   | 2. 結婚する必要を感じない        |
| 3. 仕事や学業に打ち込みたい   | 4. 趣味や娯楽を楽しみたい        |
| 5. 適当な相手に巡りあえるか不安 | 6. 異性とうまく付き合えるか不安     |
| 7. 結婚後の生活資金が不安    | 8. まだ若すぎて結婚のことは考えられない |
| 9. その他(具体的に )     |                       |

### 3. 総合戦略の諸施策について：以下の質問への回答をお願いします。

総合戦略に関する諸施策について、あなたの①認知度、②満足度と③重要度を考え、それぞれ該当するところに一つだけ○をつけてください。ただし、②満足度は①認知度で「知っていた」と回答した方のみ○をつけてください。

	①認知度		②満足度 (知っていた方のみ)						③重要度					
	知っていた【②へ】	知らなかった【③へ】	十分満足している	満足している	どちらともいえない	不満である	かなり不満である	わからない	大変重要である	重要である	どちらともいえない	重要ではない	全く重要ではない	わからない
<b>&lt;就業・起業支援&gt;</b>														
1 起業の研鑽の場「起業インキュベーションセンター」の支援	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
2 町で起業する方への起業支援補助金の運用	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
3 企業と人材のマッチングのためのインターンシップ開催	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
4 移住促進のための合同企業説明会の開催	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
5 女性の就労を支援する介護資格・大型自動車免許取得補助金	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>&lt;移住・定住支援&gt;</b>														
6 移住定住支援ポータルサイト・PR動画・ポスターによる情報発信	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
7 移住相談窓口の開設	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
8 季刊誌「湯沢U・I・Jタイムズ」の発行による移住情報の発信	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
9 移住定住促進のための新幹線通勤補助金の創設	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
10 移住促進のための住宅取得補助金の創設	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
11 移住促進のための賃貸住宅家賃補助金の運用	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>&lt;若い世代のまちづくりへの参加促進：ALL YOUTH YUZAWAの活動支援&gt;</b>														
12 町長への政策提案	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
13 「FMゆきぐに」のラジオ番組「ALL YOUTH YUZAWA」による情報発信	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
14 「広報ゆざわ」の「ぼちゃ便り」	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
15 町内イベントでのボランティア活動	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
<b>&lt;結婚・子育て支援&gt;</b>														
16 結婚を希望する町民の結婚相手紹介サービスの入会支援	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
17 子育てのためのファミリーサポートセンター利用支援	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
18 子ども医療費の自己負担無料化	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

**4. 将来の居住地について：以下の質問への回答をお願いします。**

問1 現在お住いの地区についてお聞きします。(○は1つ)

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1. 湯沢地区 | 2. 神立地区 | 3. 土樽地区 |
| 4. 三俣地区 | 5. 三国地区 |         |

問2 あなたの今の通勤・通学地（市区町村）はどこですか。(○は1つ)

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 湯沢町      |          |
| 2. その他（具体的に | 市・区・町・村） |

問3 今後の進路希望についてお聞きします。(○は1つ)

- |                    |       |             |
|--------------------|-------|-------------|
| 1. 進学（大学・短大・専門学校等） | 2. 就職 | 3. 現在就職している |
| 4. その他（具体的に：       |       | ）           |

問4 あなたが進路先として、希望する地域についてご記入ください。(○は1つ)

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1. 湯沢町       | 【問7に進んでください】          |
| 2. 新潟県内（具体的に | 市・町・村） 【問5に進んでください】   |
| 3. 新潟県外（具体的に | 都・道・府・県） 【問5に進んでください】 |
| 4. その他（具体的に  | ） 【問5に進んでください】        |

**進路先として湯沢町以外の地域を希望される方にお聞きします。**

問5 将来はまた湯沢町で暮らしたいですか。(○は1つ)

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1. 暮らしたい【問6に進んでください】 | 2. 暮らしたくない【問7に進んでください】 |
|----------------------|------------------------|

問6 何歳頃に、湯沢町に戻りたいですか。(○は1つ)

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代  | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳以上 |         |

問7 若者の定住対策・人口減少対策に対するご意見・ご提案等がございましたらご記入ください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ではございますが、同封の返信封筒に入れて  
5月31日（金）までにご投函ください。切手は不要です。

# 湯沢町 16-18 歳町民アンケート調査結果

## 目次

実施概要 .....	1
1. 回答者属性と地域社会との関係について .....	2
2. 結婚と理想の子ども数について .....	5
[1] 結婚したいと思う方 .....	5
[2] 結婚したいと思わない方 .....	7
3. 総合戦略の諸施策について .....	8
4. 将来の居住地について .....	12
5. まとめ .....	14

## 実施概要

### (1)調査の設計

調査対象：平成 31 年 4 月末時点で、満 16 歳から 18 歳までの全町民

調査方法：郵送による配布・回収

調査期間：令和元年 5 月 31 日まで

配布数：183 部、返戻数 1.

回収数：41 部、地区別回収数・割合の詳細は下表の通り.

回収率：22.5%、 $(0.225 = 41/182)$

地区別回収数・割合

	回収数	割合
湯沢地区	20	50.0
神立地区	5	12.5
土樽地区	13	32.5
三俣地区	1	2.5
三国地区	1	2.5
不明	1	2.5
有効回収計	41	-

注：割合は単位%

### (2)集計について

集計表の「度数」は回答数であり、「割合」は有効回答数に対する各項目の回答割合で単位は%である。

## 1. 回答者属性と地域社会との関係について

### 問1 性別

	度数	割合
1 男性	18	45.0
2 女性	22	55.0
合計	40	100.0

- ・ 性別を回答した40名のうち、男性は45.0%、女性は55.0%である。

### 問2 生まれ年

	度数	割合
平成12年	10	24.4
13	14	34.1
14	16	39.0
15	1	2.4
合計	41	100.0

- ・ 年齢を回答した41名の年齢区分は平成12年生まれが24.4%、13年生まれが34.1%、14年生まれが39.0%、15年生まれが2.4%である。

### 問3 居住年数

	度数	割合
1 2年未満	2	5.0
2 2-5年	1	2.5
3 5-10年	3	7.5
4 10-15年	1	2.5
5 15年以上	33	82.5
合計	40	100.0

- ・ 湯沢町での居住年数について回答した40名のうち、15年以上の湯沢町生まれ・育ちが82.5%であり、転入したとみられる15年未満が17.5%を占めている。



□ □

		☒	☒
1	FF☒☒ FF☒	0	0.0
2	F☒☒	9	22.5
3	FF☒☒FF	9	22.5
4	F☒ 6☒FF	16	40.0
5	☒FF 6☒FF	6	15.0
☒		40	100.0

□ 非 □

		☒	☒
1	☒ F☒	0	0.0
2	☒ F(☒ F☒	10	25.0
3	F☒ ☒F	12	30.0
4	☒FF ☒FF	16	40.0
5	☒F	2	5.0
☒		40	100.0

□ □

		☒	☒
1	4☒☒	5	12.5
2	4☒☒F☒☒☒	25	62.5
3	☒☒☒☒☒☒	9	22.5
4	☒☒☒☒☒☒ 1☒	1	2.5
5	☒FF ☒FF	0	0.0
☒		40	100.0

□ □

		☒	☒
1	4☒☒	9	22.0
2	4☒☒F☒☒☒	13	31.7
3	☒☒☒☒☒☒	9	22.0
4	☒☒☒☒☒☒ 1☒	5	12.2
5	☒FF ☒FF	5	12.2
☒		41	100.0

□ □

☐☐☐☐☐ ☐

□ □

☐ ☐☐☐

□ 非 □

☐ ☐☐

□ □ ☐

☐

□ □ ☐ □

## 2. 結婚と理想の子ども数について

### 問1 配偶者の有無

	度数	割合
1 いる	0	0.0
2 いない	41	100.0
合計	41	100.0

- ・ 回答者のうち、有配偶率は0%程度で、全員が未婚である。

### 問2 結婚希望

	度数	割合
1 思う	35	85.4
2 思わない	6	14.6
合計	41	100.0

- ・ 回答者のうち、結婚をしたいと思わない割合は14.6%である。なお、6名のうち、男性が3名(16.7%)、女性が3名(13.6%)であり、男女差はほとんどなかった。

### [1] 結婚したいと思う方

### 問3 理想結婚年齢

	度数	割合
1 20-24歳	8	24.2
2 25-29歳	25	75.8
3 30-34歳	0	0.0
4 35-39歳	0	0.0
5 40-44歳	0	0.0
6 その他	0	0.0
合計	33	100.0

### 問4 予想結婚年齢

	度数	割合
1 20-24歳	4	13.3
2 25-29歳	19	63.3
3 30-34歳	7	23.3
4 35-39歳	0	0.0
5 40-44歳	0	0.0
6 その他	0	0.0
合計	30	100.0

- ・ 理想の結婚年齢は、回答した 33 名全員が 20 歳代で、25-29 歳が 75.8%である。
- ・ 予想する結婚年齢は、回答した 30 名のうち、63.3%が 25-29 歳で、30-34 歳が 23.3%、20-24 歳が 13.3%である。

問 5 理想子ども数

	度数	割合
1人	4	13.8
2	20	69.0
3	4	13.8
11	1	3.4
合計	29	100.0

問 6 予想子ども数

	度数	割合
1人	6	23.1
2	16	61.5
3	3	11.5
10	1	3.8
合計	26	100.0

- ・ 理想の子ども数は、回答した 29 名のうち、69%が 2 人である。ついで 1 人と 3 人が共に 13.8%である。
- ・ 予想する子ども数は、回答した 26 名のうち、61.5%が 2 人である。ついで 1 人が 23.1%で、3 人が 11.5%である。
- ・ 理想子ども数と予想子ども数を 11 名と 10 名と記入した回答があったため、これを含めた場合と除いた場合の理想子ども数と予想子ども数を加重平均値を算出する。
  - 理想子ども数の加重平均値
    - ◇ 11 人を含めた場合：2.31 人
    - ◇ 11 人を除いた場合：2.00 人
  - 予想子ども数の加重平均値
    - ◇ 10 人を含めた場合：2.19 人
    - ◇ 10 人を除いた場合：1.88 人

問7 将来結婚したいと思う理由（回答2つまで） 結婚したい方のみ

	度数	割合	多重割合
1 精神的安らぎの場が得られる	13	22.8	40.6
2 子どもや家族をもてる	22	38.6	68.8
3 親や周囲の期待に応えられる	2	3.5	6.3
4 愛情を感じている人と暮らせる	13	22.8	40.6
5 社会的信用が得られる	3	5.3	9.4
6 親から独立できる	2	3.5	6.3
7 生活上便利になる	1	1.8	3.1
8 その他	1	1.8	3.1
合計	57	100.0	178.1

注：多重割合は回答者数 32 に対する割合。理由未回答者がいたため、有効回答数 35 から 32 に減少。

- ・ 将来結婚したいと回答した 32 名の理由のうち、「子どもや家族を持てる」が最大の 68.8%であり、「精神的安らぎの場が得られる」「愛情を感じている人と暮らせる」が共に 40.6%であった。つまり、7割近くが子どもや家族をもつことに結婚の意義を見出している。

[2] 結婚したいと思わない方

問8 将来結婚したいと思わない理由（回答2つまで） 結婚したいと思わない方のみ

	度数	割合	多重割合
1 結婚そのものに興味がない	2	20.0	33.3
2 結婚する必要を感じない	2	20.0	33.3
3 仕事や学業に打ち込みたい	0	0.0	0.0
4 趣味や娯楽を楽しみたい	0	0.0	0.0
5 適当な相手に巡りあえるか不安	0	0.0	0.0
6 異性とうまく付き合えるか不安	1	10.0	16.7
7 結婚後の生活資金が不安	1	10.0	16.7
8 若すぎて結婚は考えられない	3	30.0	50.0
9 その他	1	10.0	16.7
合計	10	100.0	166.7

注：多重割合は回答者数 6 に対する割合。

- ・ 将来結婚したくない理由として、年齢が若いこと（50.0%）が最も影響しているが、結婚に対して、「興味ない」や「必要を感じない」という消極的な意見もみられる。

### 3. 総合戦略の諸施策について

①認知度	回答数			割合：%		
	認知	非認知	計	認知	非認知	計
<b>&lt;就業・起業支援&gt;</b>						
1 起業の研鑽の場「起業インキュベーションセンター」の支援	0	39	39	0.0	100.0	100.0
2 町で起業する方への起業支援補助金の運用	2	37	39	5.1	94.9	100.0
3 企業と人材のマッチングのためのインターンシップ開催	8	31	39	20.5	79.5	100.0
4 移住促進のための合同企業説明会の開催	2	37	39	5.1	94.9	100.0
5 女性の就労を支援する介護資格・大型自動車免許取得補助金	0	38	38	0.0	100.0	100.0
<b>&lt;移住・定住支援&gt;</b>						
6 移住定住支援ポータルサイト・PR動画・ポスターによる情報発信	13	26	39	33.3	66.7	100.0
7 移住相談窓口の開設	3	36	39	7.7	92.3	100.0
8 季刊誌「湯沢U・I・Jタイムズ」の発行による移住情報の発信	0	38	38	0.0	100.0	100.0
9 移住定住促進のための新幹線通勤補助金の創設	13	26	39	33.3	66.7	100.0
10 移住促進のための住宅取得補助金の創設	2	37	39	5.1	94.9	100.0
11 移住促進のための賃貸住宅家賃補助金の運用	1	38	39	2.6	97.4	100.0
<b>&lt;若い世代のまちづくりへの参加促進：ALL YOUTH YUZAWAの活動支援&gt;</b>						
12 町長への政策提案	6	33	39	15.4	84.6	100.0
13 「FMゆきぐに」のラジオ番組「ALL YOUTH YUZAWA」による情報発信	6	33	39	15.4	84.6	100.0
14 「広報ゆざわ」の「ぼちゃ便り」	11	28	39	28.2	71.8	100.0
15 町内イベントでのボランティア活動	12	26	38	31.6	68.4	100.0
<b>&lt;結婚・子育て支援&gt;</b>						
16 結婚を希望する町民の結婚相手紹介サービスの入会支援	3	35	38	7.9	92.1	100.0
17 子育てのためのファミリーサポートセンター利用支援	6	33	39	15.4	84.6	100.0
18 子ども医療費の自己負担無料化	23	16	39	59.0	41.0	100.0

- ・ 認知度が50%以上の施策は、子ども医療費無料化59.0%である。
- ・ 認知度が30%台の施策は、移住ポータルサイト、新幹線通勤補助及びボランティア活動（All Youth Yuzawa）である。
- ・ 認知度が10-20%台の施策は、広報ゆざわのぼちゃ便り（AYY）、インターンシップ、政策提言（AYY）、FMゆきぐに（AYY）、ファミリーサポートセンターである。
- ・ それ以外は10%未満である（結婚紹介所登録補助、住宅取得補助、起業支援補助金、賃貸住宅補助、合同企業説明会、移住相談窓口）。
- ・ まったく認知されていない施策は、インキュベーションセンターの開設、UIJタイムズ、資格取得補助である。
- ・ この世代における、総合戦略の施策の知名度は極めて低調である。

②満足度 回答数

	十分満足	満足	どちらでも	不満	かなり不満	わからない	計
<b>&lt;就業・起業支援&gt;</b>							
1 起業の研鑽の場「起業インキュベーションセンター」の支援	0	0	0	0	0	0	0
2 町で起業する方への起業支援補助金の運用	0	0	2	0	0	0	2
3 企業と人材のマッチングのためのインターンシップ開催	1	2	1	0	0	3	7
4 移住促進のための合同企業説明会の開催	0	0	1	1	0	0	2
5 女性の就労を支援する介護資格・大型自動車免許取得補助金	0	0	0	0	0	0	0
<b>&lt;移住・定住支援&gt;</b>							
6 移住定住支援ポータルサイト・PR動画・ポスターによる情報発信	1	6	3	0	0	2	12
7 移住相談窓口の開設	0	0	1	0	0	1	2
8 季刊誌「湯沢U・I・Jタイムズ」の発行による移住情報の発信	0	0	1	0	0	0	1
9 移住定住促進のための新幹線通勤補助金の創設	1	1	4	1	0	4	11
10 移住促進のための住宅取得補助金の創設	0	1	0	0	0	0	1
11 移住促進のための賃貸住宅家賃補助金の運用	0	0	0	0	0	0	0
<b>&lt;若い世代のまちづくりへの参加促進：ALL YOUTH YUZAWAの活動支援&gt;</b>							
12 町長への政策提案	0	2	1	0	1	1	5
13 「FMゆきぐに」のラジオ番組「ALL YOUTH YUZAWA」による情報発信	0	5	0	0	0	0	5
14 「広報ゆざわ」の「ぼちゃ便り」	3	2	3	0	0	0	8
15 町内イベントでのボランティア活動	2	3	4	0	1	1	11
<b>&lt;結婚・子育て支援&gt;</b>							
16 結婚を希望する町民の結婚相手紹介サービスの入会支援	0	1	1	0	0	1	3
17 子育てのためのファミリーサポートセンター利用支援	4	1	0	0	0	0	5
18 子ども医療費の自己負担無料化	10	5	0	1	0	1	17

②満足度 割合：％

	十分満足	満足	どちらでも	不満	かなり不満	わからない	計
<b>&lt;就業・起業支援&gt;</b>							
1 起業の研鑽の場「起業インキュベーションセンター」の支援	-	-	-	-	-	-	-
2 町で起業する方への起業支援補助金の運用	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3 企業と人材のマッチングのためのインターンシップ開催	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	42.9	100.0
4 移住促進のための合同企業説明会の開催	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
5 女性の就労を支援する介護資格・大型自動車免許取得補助金	-	-	-	-	-	-	-
<b>&lt;移住・定住支援&gt;</b>							
6 移住定住支援ポータルサイト・PR動画・ポスターによる情報発信	8.3	50.0	25.0	0.0	0.0	16.7	100.0
7 移住相談窓口の開設	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0
8 季刊誌「湯沢U・I・Jタイムズ」の発行による移住情報の発信	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9 移住定住促進のための新幹線通勤補助金の創設	9.1	9.1	36.4	9.1	0.0	36.4	100.0
10 移住促進のための住宅取得補助金の創設	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
11 移住促進のための賃貸住宅家賃補助金の運用	-	-	-	-	-	-	-
<b>&lt;若い世代のまちづくりへの参加促進：ALL YOUTH YUZAWAの活動支援&gt;</b>							
12 町長への政策提案	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	100.0
13 「FMゆきぐに」のラジオ番組「ALL YOUTH YUZAWA」による情報発信	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
14 「広報ゆざわ」の「ぼちゃ便り」	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0	0.0	100.0
15 町内イベントでのボランティア活動	18.2	27.3	36.4	0.0	9.1	9.1	100.0
<b>&lt;結婚・子育て支援&gt;</b>							
16 結婚を希望する町民の結婚相手紹介サービスの入会支援	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	100.0
17 子育てのためのファミリーサポートセンター利用支援	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
18 子ども医療費の自己負担無料化	58.8	29.4	0.0	5.9	0.0	5.9	100.0

③重要度 回答数

	大変重要	重要	どちらでも	重要でない	全く重要でない	わからない	計
<b>&lt;就業・起業支援&gt;</b>							
1 起業の研鑽の場「起業インキュベーションセンター」の支援	2	8	7	0	0	18	35
2 町で起業する方への起業支援補助金の運用	3	13	5	0	0	12	33
3 企業と人材のマッチングのためのインターンシップ開催	5	13	7	0	0	9	34
4 移住促進のための合同企業説明会の開催	3	14	8	1	0	9	35
5 女性の就労を支援する介護資格・大型自動車免許取得補助金	4	14	7	0	0	10	35
<b>&lt;移住・定住支援&gt;</b>							
6 移住定住支援ポータルサイト・PR動画・ポスターによる情報発信	9	8	7	0	0	9	33
7 移住相談窓口の開設	4	15	5	0	0	9	33
8 季刊誌「湯沢U・I・Jタイムズ」の発行による移住情報の発信	2	10	9	1	0	12	34
9 移住定住促進のための新幹線通勤補助金の創設	8	10	6	1	0	9	34
10 移住促進のための住宅取得補助金の創設	8	8	8	0	0	11	35
11 移住促進のための賃貸住宅家賃補助金の運用	10	6	7	0	0	11	34
<b>&lt;若い世代のまちづくりへの参加促進：ALL YOUTH YUZAWAの活動支援&gt;</b>							
12 町長への政策提案	8	6	8	0	0	11	33
13 「FMゆきぐに」のラジオ番組「ALL YOUTH YUZAWA」による情報発信	3	10	9	1	1	9	33
14 「広報ゆざわ」の「ぼちゃ便り」	3	3	11	1	1	12	31
15 町内イベントでのボランティア活動	4	12	5	0	0	9	30
<b>&lt;結婚・子育て支援&gt;</b>							
16 結婚を希望する町民の結婚相手紹介サービスの入会支援	8	5	9	0	0	11	33
17 子育てのためのファミリーサポートセンター利用支援	11	7	6	0	0	8	32
18 子ども医療費の自己負担無料化	20	3	2	0	1	4	30

③重要度 割合：%

	大変重要	重要	どちらでも	重要でない	全く重要でない	わからない	計
<b>&lt;就業・起業支援&gt;</b>							
1 起業の研鑽の場「起業インキュベーションセンター」の支援	5.7	22.9	20.0	0.0	0.0	51.4	100.0
2 町で起業する方への起業支援補助金の運用	9.1	39.4	15.2	0.0	0.0	36.4	100.0
3 企業と人材のマッチングのためのインターンシップ開催	14.7	38.2	20.6	0.0	0.0	26.5	100.0
4 移住促進のための合同企業説明会の開催	8.6	40.0	22.9	2.9	0.0	25.7	100.0
5 女性の就労を支援する介護資格・大型自動車免許取得補助金	11.4	40.0	20.0	0.0	0.0	28.6	100.0
<b>&lt;移住・定住支援&gt;</b>							
6 移住定住支援ポータルサイト・PR動画・ポスターによる情報発信	27.3	24.2	21.2	0.0	0.0	27.3	100.0
7 移住相談窓口の開設	12.1	45.5	15.2	0.0	0.0	27.3	100.0
8 季刊誌「湯沢U・I・Jタイムズ」の発行による移住情報の発信	5.9	29.4	26.5	2.9	0.0	35.3	100.0
9 移住定住促進のための新幹線通勤補助金の創設	23.5	29.4	17.6	2.9	0.0	26.5	100.0
10 移住促進のための住宅取得補助金の創設	22.9	22.9	22.9	0.0	0.0	31.4	100.0
11 移住促進のための賃貸住宅家賃補助金の運用	29.4	17.6	20.6	0.0	0.0	32.4	100.0
<b>&lt;若い世代のまちづくりへの参加促進：ALL YOUTH YUZAWAの活動支援&gt;</b>							
12 町長への政策提案	24.2	18.2	24.2	0.0	0.0	33.3	100.0
13 「FMゆきぐに」のラジオ番組「ALL YOUTH YUZAWA」による情報発信	9.1	30.3	27.3	3.0	3.0	27.3	100.0
14 「広報ゆざわ」の「ぼちゃ便り」	9.7	9.7	35.5	3.2	3.2	38.7	100.0
15 町内イベントでのボランティア活動	13.3	40.0	16.7	0.0	0.0	30.0	100.0
<b>&lt;結婚・子育て支援&gt;</b>							
16 結婚を希望する町民の結婚相手紹介サービスの入会支援	24.2	15.2	27.3	0.0	0.0	33.3	100.0
17 子育てのためのファミリーサポートセンター利用支援	34.4	21.9	18.8	0.0	0.0	25.0	100.0
18 子ども医療費の自己負担無料化	66.7	10.0	6.7	0.0	3.3	13.3	100.0

### ②満足度について：認知していた方のみ

- ・ 認知度が 20%を超えた施策に限定すると、満足（十分満足と満足の合計）を回答した割合は、以下のとおりである。

－ 子ども医療費無料化	： 88.2%
－ 広報ゆぎわのぼちゃ便り（AYY）	： 62.5%
－ 移住ポータルサイト	： 58.3%
－ ボランティア活動（AYY）	： 45.5%
－ インターンシップ	： 42.9%
－ 新幹線通勤補助	： 18.2%
- ・ 子ども医療費無料化の認知度は 60%程度であり、満足（十分満足と満足の合計）と回答した割合も、88.2%と突出して高い。一方、「不満」と「わからない」の割合はそれぞれ 5.9%と低い。

### ③重要度について

- ・ 重要度（大変重要と重要の合計）が 60%以上の施策は、子ども医療費無料化 76.7%である。
- ・ 50%台の施策は、移住相談窓口、ファミリーサポートセンター、ボランティア活動（AYY）、インターンシップ、新幹線通勤補助、移住ポータルサイト、資格取得補助、
- ・ 30%台から 40%台の施策は、合同企業説明会、起業支援補助金、賃貸住宅補助、住宅取得補助、政策提言（AYY）、FM ゆきぐに（AYY）、結婚紹介所登録補助、UIJ タイムズである。
- ・ 30%未満の施策は、インキュベーションセンター、広報ゆぎわのぼちゃ便り（AYY）である。

## 4. 将来の居住地について

### 問1 居住地区

	度数	割合
1 湯沢地区	20	50.0
2 神立地区	5	12.5
3 土樽地区	13	32.5
4 三俣地区	1	2.5
5 三国地区	1	2.5
合計	40	100.0

- ・ 居住地区について回答した40名のうち、湯沢地区が50.0%、土樽地区が32.5%、神立地区が12.5%、三国地区が2.5%、三俣地区が2.5%である。

### 問2 通勤・通学地

	度数	割合
1 湯沢町	5	12.2
2 他市区町村	36	87.8
合計	41	100.0

- ・ 通勤・通学地について回答した41名のうち、湯沢町が通勤・通学地である割合は12.2%、町外は87.8%である。
- ・ 他市町村への通勤・通学地について回答した33名のうち、南魚沼市が通勤・通学地である割合は51.5%、ついで魚沼市と長岡市が共に15.2%である。県外は2名(6%)である。

### 問3 将来の進路希望

	度数	割合
1 進学	31	77.5
2 就職	6	15.0
3 現在就職している	2	5.0
4 その他	1	2.5
合計	40	100.0

- ・ 将来の進路として進学を希望する方は77.5%である。
- ・ 就職を希望している方は15.0%である。

問4 進路先地域の希望

(1)進路先希望地域

	度数	割合
1 湯沢町	3	7.5
2 新潟県内	9	22.5
3 新潟県外	28	70.0
4 その他	0	0.0
合計	40	100.0

- ・ 将来の進路を選択する際の希望地を確認したところ、回答した40名のうち、92.5%が町外を希望し、70.0%が新潟県外、22.5%が県内他地域である。湯沢町の希望はわずか7.5%である。

(2)都道府県別

	度数	割合
東京都	14	48.3
関東	7	24.1
新潟県	6	20.7
東北	1	3.4
北海道	1	3.4
合計	29	100.0

(3)新潟県内市町村

	度数	割合
新潟市	5	83.3
長岡市	1	16.7
合計	6	100.0

- ・ 湯沢町以外の具体的な地域名を記入した29名のうち、東京都が48.3%、東京都以外の関東地方が24.1%である。
- ・ 新潟県内を希望する6名のうち、5名が新潟市を希望している。

問5 帰郷意向

	度数	割合
1 暮らしたい	19	52.8
2 暮らしたくない	17	47.2
合計	36	100.0

- ・ 進路先として、湯沢町外を希望する36名のうち、将来はまた湯沢町で暮らしたいと回答した割合は52.8%である。

## 問6 帰郷の年齢

	度数	割合
1 20歳代	5	26.3
2 30歳代	8	42.1
3 40歳代	2	10.5
4 50歳代	2	10.5
5 60歳以上	2	10.5
合計	19	100.0

- ・ (問5で) 将来はまた湯沢町で暮らしたいと回答した19名の希望する帰郷年齢は、30歳代が42.1%、20歳代が26.3%であり、30歳代まで68.4%がまた湯沢町で暮らしたいと考えている。

## 5. まとめ

有効回答数が41と少ないため、結果の解釈には注意が必要である。

### (1)結婚に関する意識

1. 結婚したい割合は、85%である
2. 理想の結婚年齢は25-29歳であるが、実際には30-34歳とみている者もいる。
3. 理想の子ども数は2.00人である。
4. 予想する子ども数は、1.88人である。
5. 結婚したいと思わない者(6名)のうち、半数は結婚に関して消極的である。

### (2)将来の進路

1. 92.5%が町外に出たいと考えている。東京都が半数近い。
2. その半分程度が将来はまた湯沢町に戻りたいと考えている。
3. 30歳代までの帰郷が70%である。

### (3)総合戦略の施策について

1. 知名度は極めて低調である。
2. 半分程度の人に認識されていたのは、唯一、医療費無料化であるが、その満足度は88%であり、また75%超が重要だと考えている。